

令和6年2月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	令和6年2月5日（月） 午後2時30分～午後3時30分
場 所	青葉市役所4階会議室及びWeb会議
出席者	<p>【議長】 おさかべさやか議員</p> <p>【議員：9名】 田中ゆき議員、山下正人議員、伊藤くみこ議員、横山正人議員、藤崎浩太郎議員、行田朝仁議員、赤野たかし議員、内田みほこ議員、青木マキ議員</p> <p>【説明局員：27名】（青葉区：23名） 中島区長、吉田副区長、青木福祉保健センター長、壺井福祉保健センター担当部長、鈴木土木事務所長、瀬上消防署長、ほか関係職員</p>
次 第	<p>報告事項</p> <p>1 青葉区美しが丘公園周辺エリアにおける「子育てしたいまち推進モデル地区」の取組について (政策局政策課 資料1)</p> <p>2 青葉区制30周年について (区政推進課 資料2)</p> <p>その他</p> <p>1 青葉警察署管内の情勢について (青葉警察署 資料3)</p> <p>2 青葉区火災・救急状況（令和6年1月25日現在） (青葉消防署 資料4)</p>
報告事項1	青葉区美しが丘公園周辺エリアにおける「子育てしたいまち推進モデル地区」の取組について
発言の要旨	<p>資料1に基づき、政策局から報告。</p> <p>山下議員 唐突に出てきた政策のように映る。というのも、地元への説明も直前、もしくは初耳だったというような声も聞こえている。やることはよいがどのような経緯でこの政策が出てきたのか。</p> <p>齊藤政策局政策部長 発表そのものは、予算発表で行った。中期計画で「子育てしたいまち」「次世代を共に育むまち」を掲げており、それが実感、実装できるようなエリアができるといいのでは、という議論は、予算編成の中で行ってきた。視点としては大きく2つあり、1つは、次世代郊外まちづくりについては、これまでも産学官民連携で行ってきた素地があるということである。もう1つは、全区どこの地域でもこういった策ができないか、一通りスクリーニングをかけて検討した。1区1つ必ず公園にこどもログハウスがあり、その周辺で地域のこういった資源が集中しているかを</p>

	<p>確認し、美しが丘公園周辺が今回の位置づけになるということに至った。様々な局で予算化はしているが、各々の考え方で優先順位をつけるのではなく、政策局という立場で束ねて実施する試みを予算編成の中で検討して現在に至っている。ご指摘のとおり、先に地域にご相談したのかについては、後追いの面もあって恐縮ではあったが、そういった経過での検討をしてきた。</p>
山下議員	<p>次世代郊外まちづくりのやり直しのようなイメージが伝わってくる。やるからにはもう少し思い切ったことを実施し、結果を出すようにしていかないとならない。例えば縦割りの問題もだが、ルール上できないものは特区的な扱いをして実施するなど、思い切ってやらないと難しいと思うため、ぜひお願いしたい。6年度だけで終わる話ではない。</p>
齊藤政策局政策部長	<p>6年度単年で終わるという意味ではないと思っている。現行の中期計画だけ見てもあと2年あり、そこまでの間にまず1年、2年、どういったことができるかを考え、取り組みたいと思う。最近、人口の議論がよくあるが、青葉区においても1月の前年度月で1300人程度人口が減っており、コロナ前は転入が比較的多かったが、徐々に川崎や都内回帰が進んでいる。この機に集中して策を投じることで効果が出るのではないかとこの仮説を立て、中期計画等も踏まえ取り組んでいきたいと考えている。</p>
山下議員	<p>モデル実施のため、やるからには大きくやってほしいと思う。現在、皆さんの思っている以上にたまプラーザは活力が落ちていると、思っている。美しが丘公園の隣にある郵政の跡地は本当に肝になると思っている。ここはやはり横浜市が何かサポートしてもらいたい。</p> <p>それと同時に、夜の10時を過ぎて駅前が閑散としている。街としては本当に大丈夫かという危機感を持っている。子育てしたいまちというと、子供たちが集まってにぎわいがあり、商業施設があり、子供たちが遊べるものがあり、と色々なものが必要ではないか。そういうものがここに組み込まれていない。単年度ではないので、この機会に子どもを集めるためのまちづくりを一からするぐらいの気持ちでやらないと、実験ばかりさせられて全部中途半端ということになってしまう。気合いを入れてやってほしい。</p>
横山議員	<p>今回のモデル地区について、全市的に見て横展開しているのか。また他の地域で実施することも考えているのか。</p>

齊藤政策局政 策部長	市内で横展開はしていきたいと考えている。その第一歩として、美しが丘公園を中心にまず実施していこうということである。
横山議員	近隣公園について、こういった大規模な公園をイメージしているのか、ログハウスがあるような所を考えているのか、それとも小さい所でもやっっていこうと考えているのか。
齊藤政策局政 策部長	様々な地域資源を有効に地域に使っていただきたいという思いがあり、一旦はログハウスがあるような所を、他の区であれば同等に考えてみたいと思っている。それが基軸だが、1年、2年と実施していくうちにどういった取組が効くか、地域に感謝されるかという点については、また、展開が変われば柔軟に対応したい。
横山議員	今の段階で具体性が乏しいと感じており、イメージが湧かない。ここで子供たちがどのように過ごしたり、遊んだりすることを想定しているのか。
齊藤政策局政 策部長	<p>現在、横浜市は妊娠・出産から切れ目ない支援を行うということで、ますます取組を進めようとしている。1－4ページのイメージ図の通り、小学校も2つあり、放課後も地域で過ごして、親御さんも安心して過ごしていただく、というようなことも重要かと思っている。</p> <p>それから、青葉区の人口動態で見られるのは、30代、40代の方は転入超過である。一方で、20代の方は転出超過で、これが数年来続いている。そこから一旦ご結婚なりして家を構えられるが、お育ちになると出ていく方が多いと読み取れる。ただ、仕事の都合でどうしても転出があるとは思いますが、子供の頃に青葉区で育った方が、再び生まれ育った地域で生活を継続してもらおうということも大事なことだと思っている。主に幼稚園や保育園、小学校ぐらいまでかもしれないが、この地域で家族とよい時間を過ごしていただく、また人口の動態が表れるということの一つ念頭に置いている。</p>
横山議員	脱炭素はどのように結びついていくのか。
齊藤政策局政 策部長	直近の脱炭素の動きとして、公園の横にあるWISE Living Labで、東急株式会社等との連携が始まっている。そういった活動と、お子さんたちの体験活動などを連携させて、次世代の脱炭素のことも考えている街であるということの仕掛けを、それぞれの部門のみで実施するではなく、政策局でも結びつけるということも考えている。

横山議員	脱炭素に対する学びの場であったり、実践や活動の場をハードとして整備するという考え方か。
齊藤政策局政策部長	充電や蓄電等のシェアリングステーションについては、現時点では民間企業で整備を進めていただいているため、それを有効に活用していきけるよう活動を進めるところかと思っている。
横山議員	脱炭素の部分は唐突感があるため、もう少し具体性のあるコンセプトをしっかりとつくっていただきたいと思う。
赤野議員	まず、ゴール設定を何に置いているのかということをお聞かせいただきたい。それから、ゴールに対して何年間でそれを目指すかなどが、決まっていれば、伺いたい。
齊藤政策局政策部長	ゴール設定に関して、まず、横浜市の中期計画が7年度までの4年間のサイクルである。7年度末の時点で美しが丘地区の人口の動態が、転出超過の状況であるため、1つは、2年後にそれが均衡となるということ、もう1つは数字だけでなく何らかの満足度の調査等も実施し、子育てしたいまちの実感ができているかを測るとというのが、直近の2年の目標感である。また、2030年に1つ、計画でも子育てしたいまちというゴール感があったため、その時点でどれだけ賑やかになっているかについては、転入者数等の数字と、どのあたりで満足度を測れるかは、できる策も併せて考えて、またご報告、ご相談したいと思っている。
赤野議員	やはりゴール設定がかなり曖昧であり、地域の方を巻き込んで中途半端な形で終わらせていただきたくないというのが強い要望である。 また、公民共創の共創の視点が当初からあまり感じられていないが、今後の進め方について伺いたい。
齊藤政策局政策部長	共創・協働の視点というのは、ご指摘のとおり、横浜市かつ政策局の重要なミッションである。次世代まちづくりの文脈もあって、東急株式会社との話し合いは既に始めており、また先ほどの脱炭素も同様である。今年6年度の市の予算で放課後の施策等について計上しており、一義的には行政側がまずどうするという話が多い面はあるが、それを地域でどう広げて実感していただくかという面では、地域や団体の方との連携は不可欠だと思う。この辺はもう少し区役所や地域の方とも相談してしっかり進めていきたいと考えている。

赤野議員	<p>共創の視点から住民の方が置いてきぼりにならないよう、強く要望をさせていただきたい。</p>
藤崎議員	<p>まず、令和6年度の実施内容だけで見ると、基本的には行政施策が並んでおり、行政主導ないしは行政と関係企業での主導がメインになっているように見える。次世代郊外はまさに住民参加、住民主体でやられたところだが、その辺は今後どのように進めていくのか。</p>
齊藤政策局政策部長	<p>行政主導の施策であっても、そのサービスや取組をお受けいただく地域の方、団体の方、保護者の方からして、それが満足に繋がるものである必要がある。どのように地域と連携するか、保護者の声、地域全体の声を受け止めていくかについては、区役所ともよく相談をし、考えていきたい。</p>
藤崎議員	<p>子供の数が少ないところで子育てしている人も子育てしやすい環境にあってほしいと思うし、資源が少ないところだからこそ、新たな提供がないと困るという地域もあるのではないかと感じた。モデル地区に設定されている美しが丘エリアが非常に恵まれている場所として選ばれたとすれば、横展開においては恵まれていない地域への展開というのが課題になりそうに見えるが、その辺は何か考えがあるのか。</p>
齊藤政策局政策部長	<p>ご指摘いただいた点は、今回のモデル地区の件を検討する際に最も議論を深めた点である。人口の話になるが、大きくいうと東京、川崎から横浜市の北部に転入が多く、逆に市の南西部は湘南や県央に転出が多いという状況がある。横浜市としての取組にあっては、比較的地域資源が整っていない方にこそ手を打つべきという議論も当然あった。単に美しが丘と同様に実施をすれば、どの区でもうまくいくということではない。一方で、個々の策を見たときに、こんなことが保護者の助けになった、などの情報は有益であると考え。今後、西部の方で開発が進むエリアもあるため、広く見て検証していく心構えでいる。</p>
藤崎議員	<p>評価していくなど、アウトプット部分を書かれているが、インプット部分でいうと、いわゆる一般的な保護者、親や子供の当事者、ないしは自治会などもあるが、多様な子育て支援団体である。中間的な支援をしていたり、様々な子育て支援の団体があるのも美しが丘の特徴だと思う。そういう意味で、美しが丘地域における課題を地域の方がどう捉えているか、このインプット部分をいかに精緻に取り上げられるかどうか</p>

	<p>が、恐らくこの実証実験的に進められる取組のアウトプット、アウトカムに大きな影響を及ぼすのではないかと思います。このインプット部分をどのように考えているのか。</p> <p>齊藤政策局政策部長 保育所の数が多いなど、数値上のお話をしているところではあるが、一方で外見的な数や面だけで語れる話ではないという自覚は強く持ちたいと思っている。声なき声のほうが大切なテーマかもしれないし、そのあたりは区役所ともよく相談して、地域子育て団体の方の本音といったものについても丁寧にお伺いするというのを肝に銘じてやっていく必要があると思う。今日頂いたご意見をよく承って、区と相談して取り組みたい。</p> <p>内田議員 青葉区以外にはどういった区がモデル地区に選ばれているか。数や場所などが分かれば教えてほしい。</p> <p>齊藤政策局政策部長 6年度の横浜市で子育てしたいまちモデル地区を初めて美しが丘公園周辺でお願いすることにしており、現時点ではこのみになる。ここでの取組を今後、市の他の地域にも展開していきたいというのが現在の状況である。</p> <p>内田議員 もちろん青葉区が良くなればそれは嬉しいが、横浜市内のことを考えると、さらに必要とされている区がある。また、オンデマンド実証実験に少し参加したが、横浜市には他に坂が多く通勤しにくい場所や、階段が多かったり、道路が狭いがバスは通っていないといった地域が多くある。実施しやすい方向にモデル地区が選ばれているという感覚があるが、その辺はどう考えているか。</p> <p>齊藤政策局政策部長 横浜市も交通の便や子育て支援施設へのアクセスがまばらであることは認識・共有している。どういったモデルを展開していくかというのは、これまでも様々な取組の素地があるところで効果を測っていくという視点で検討をした。地域交通についても1つの地区で実施したことを他地区に広げて実施しているところかと思う。恵まれていないとされるようなところがあるという認識はあるため、今後はそういった面を十分意識して取り組んでいきたい。</p> <p>内田議員 全体的に横浜市内のことをよく考えて、モデル地区にするにしても、やりやすいところではなく、しっかり状況を見てやっていただきたいと要望する。</p>
--	--

	<p>田中議員 令和6年度の実施内容の「公園のまち ヨコハマ」の推進で、受動喫煙対策の実施を入れた根拠を教えてください。</p>
	<p>齊藤政策局政策部長 受動喫煙対策は市内の全ての公園で実施をしようとしている。そういう意味ではここだけではないが、対策を実施するということで記載した。「公園のまち ヨコハマ」という意味でいうと、こちらのログハウスは空調が既に整ったと伺っており、環境創造局やこども青少年局等もプロジェクト化している。また、ログハウスというのが単に箱であるだけでなく、どういった世代の方が利用しているかという調査も現在実施しており、さらにソフト面で活性化できる策がないのかということを進めている。それと並行して、当然、受動喫煙対策についても、美しが丘でもしっかり実施をしていくという整理である。</p>
	<p>田中議員 去年、藤が丘の公園で受動喫煙対策、禁止のモデル実施をされたと思うが、その経験を生かして、新たなモデル地区になったこの公園で実施することは何か検討されているのか。</p>
	<p>齊藤政策局政策部長 市内数か所、青葉区内でもモデルの受動喫煙対策を進めてきたところである。藤が丘で何があったので美しが丘でこのようにする、というダイレクトなものはないが、区内で実験もお願いしたところのため、環境創造局とも改めて状況もよく確認し、地域にどうお伝えすれば理解が深まるかという点について、あらかじめ学んだ上で取り組みたいと考えている。</p>
	<p>田中議員 子育て世代の方から、この受動喫煙の防止対策をもう少し進めてもらいたいという声が多くあると思う。看板を設置したり、いろいろご尽力いただいているが、その結果を踏まえた上で、美しが丘公園の周辺は、子育て世代に関わる支援が多いエリアということなので、モデル地区として公園だけではなく周辺の路上など広い範囲での検討も実施していただければと思う。</p>
	<p>齊藤政策局政策部長 資料に記載された取組のみと言うつもりはなく、より良いものについて検討したい。</p>
	<p>行田議員 現在検討しているアンケートを取る方法や、対象について教えていただきたい。</p>

	<p>齊藤政策局政 策部長 1-4ページに書いてある施策ごとに、特に放課後施策については利用者のアンケートを取らせていただこうと思っている。それだけで足りるかどうかについては、もう少し考えを深めていきたいと思っている。</p> <p>行田議員 しっかり検討をしていただき、市民の皆さんの声を集約できるようにお願いしたい。</p> <p>青木議員 まず、この美しが丘のまちづくりの対象地域というのは、具体的な地域を限定しているのか伺いたい。 もう一つ、これが子育てしたいまちになったという効果測定や評価の指標をどこに置かれて今後検討していくのかを伺いたい。</p> <p>齊藤政策局政 策部長 エリアの考え方は、公園を中心としたおよそ半径500メートル内を基本想定している。美しが丘の1丁目から2丁目辺りが大体該当するというので、どこで線を引いているということではない。 2つ目のゴールについては、青葉区や美しが丘の周辺は30代、40代の転出超過と考えられるが、横浜市の中期計画があと2年あり、2年たったときにその出入りが均衡し、2030年には転入のほうが増えるということを一時的な課題としている。そのあたりの目標感はもう少し整理を進めたいと思っている。</p> <p>おさかべ議員 ゴール設定について、できれば具体的な数値、転入人数を設定していただきたい。それがないと達成できたかという効果が分からないため、アンケートでは定性の調査だけでなく定量も設定いただきたい。 もう一点、「公園のまち ヨコハマ」の推進について、青葉区は公園に水遊び場が一つもないため、公園に大きなビニールプールなどを出し、カラーボールでも浮かせて、というようなイベントを検討いただけたらと思う。</p> <p>齊藤政策局政 策部長 ゴール設定は、数値面や達成感について、両方の側面で整理していきたい。公園については愛護会の方もいらっしゃるため、色々ご意見を賜っていきたい。</p>
報告事項2 青葉区制30周年について	
発 言 の 要 旨	<p>資料2に基づき、区政推進課から報告。</p> <p>山下議員 1つは、式典が11月4日ということだが、区民まつりが毎年3日で、これはどうするのか教えてください。 2点目は、ウォーキングイベントを何回か実施しており、歴史ウォー</p>

	<p>クのようなものもある。以前もお話した、表示板が何もないのでつけてほしい、という話はどうなったのか。物理的に無理なのであれば、例えばスマホをかざしたら何か出てくるなど、そういった工夫があったのか。</p>
中島区長	<p>まず、式典について、実行委員会と協議している中では、11月3日に区民まつりを実施し、翌日11月4日の振替休日に式典を実施しようかと検討している。11月6日は平日のため、4日がいいのではないかと考えている。</p> <p>また、以前この会議の中で、いろいろな銘板などが消えていたり、隣の川崎に比べるととても少ないのではないかとというようなお話も頂いている。これについては、各銘板はほとんど教育委員会が担っているため、消えていたり劣化しているものについては、教育委員会に修繕を依頼しているところである。それ以外にも、今回のガイドブックを作ったり、ウォーキングコースをつくる中で、また新しい工夫が必要であれば、そういったものも考えていきたいと思っている。</p>
横山議員	<p>実行委員会、地域、及び区役所でそれぞれが主催する事業があり、そのほかに、例えば企業や6大学などで自主的に30周年を記念した何かをやってもらいたいのではないかとと思うが、どうか。</p>
中島区長	<p>無料体験イベントに手を挙げていただいた企業様については、そこで盛り上げていただくということをお願いしているところである。</p> <p>青葉6大学も、せっかく30周年なので何か6大学としてやりたいと、企画を練ってくださっているところだと伺っている。それがある程度出来上がってきたら、ぜひ我々も一緒にやっていきたいと思っている。</p>
横山議員	<p>各種イベントのスケジュールというのは、区役所のホームページなどに掲載されているのか。</p>
帰山地域振興課長	<p>青葉区のホームページから「区の紹介」というところに、30周年の各種イベントの紹介をさせていただくページを作成している。これから申請いただいて冠をつけた事業については、順次そちらに掲載していきたいと考えている。</p>
横山議員	<p>先ほどの企業の話だが、東急電鉄は青葉区誕生の際に各駅で硬券の入場券を発行したこともあった。こういった色々なものを記念事業としてぜひ上げていっていただきたい。</p>

	<p>おさかべ議員 1点要望だが、フリーマラソン、親子ペアマラソンなどを考えていただきたい。「子育てしたいまち ヨコハマ」を謳うのであれば、そのような検討もあるといいと思う。</p>
その他1	青葉警察署管内の情勢について
発言の 要旨	資料3に基づき、青葉警察署から報告。
その他2	青葉区火災・救急状況（令和6年1月25日現在）
発言の 要旨	資料4に基づき、青葉消防署から報告。